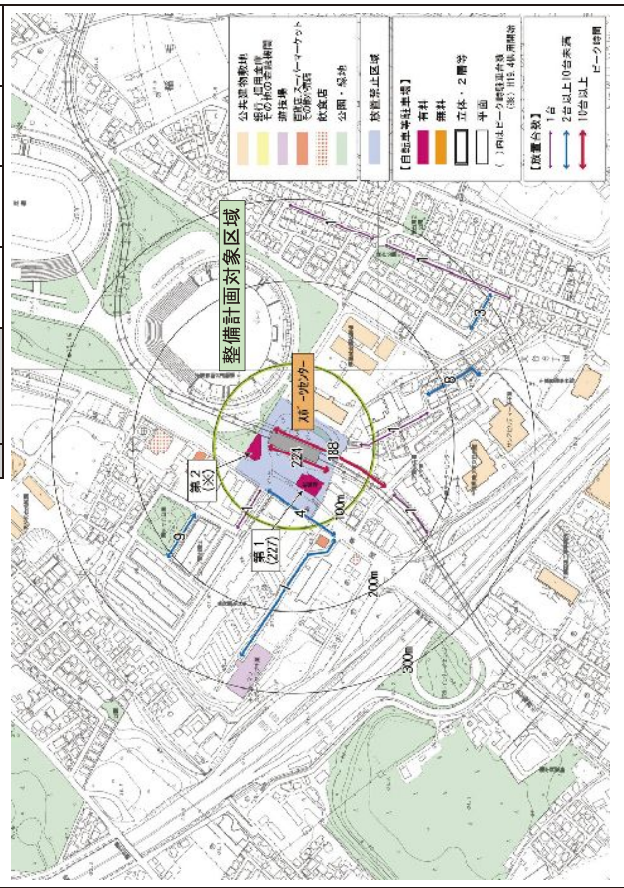


千葉都市モルレル2号線
スポーツセンター駅

【概況】

スポーツセンター駅は、1日平均乗車人員は約2,400人、自転車等の乗入台数は625台である。
駐輪場は2箇所設置しており、収容台数は557台となっている。

測定日：平成18年10月30日 図はピーク時の台数を示している。	ピーク時乗入台数		収容台数
	駐車	放置	
全体	625	417	557
計	208	205	396
自転車	601	396	527
原付	24	3	21
			30



◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	2,430人/日
モルレル	(H18千葉市統計書)	

交通分担率	徒歩	自転車等	バス	タクシー	その他
モルレル	47.5%	27.3%	21.9%	0.0%	3.4%
	(H10 東京都市圏ハーンソトリップ調査)				

【需要推計】

スポーツセンター駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数を577台と推計しており、現在の乗入台数を割り込む見込みであるが、現時点で収容台数が不足している。

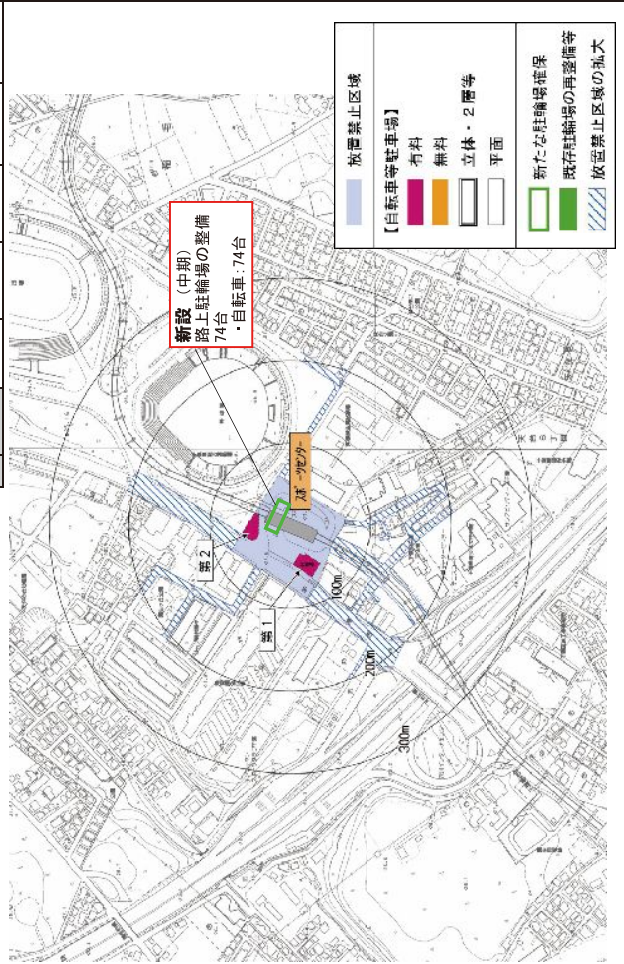
計画期間(H27)の 伸び率	全体	自転車	原付
		0.92	0.98

【整備計画】

収容台数が不足していることから、路上駐輪場の新設により対応する。なお、自転車の乗入台数について現時点の乗入台数が需要推計を上回ることから、現状に対応した台数を確保する。
また、自転車等の放置の実態や駐輪場の整備の時期を踏まえて放置禁止区域を拡大する。

整備計画図

全体		乗入台数	伸び率	推計台数	収容台数	不足台数
計	625	577	—	557	557	74
自転車	601	0.92	0.92	553	527	74
原付	24	0.98	0.98	24	30	—



◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数		整備時期	主体
			現況(原付)	整備(原付)		
第1 (既設)			380	(30)	380	市
第2 (既設)			177	(0)	177	市
新設	路上駐輪場の整備		74	(0)	74	市
駅計			557	(30)	631	市
			74	(0)	74	市

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モルレル 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26～27

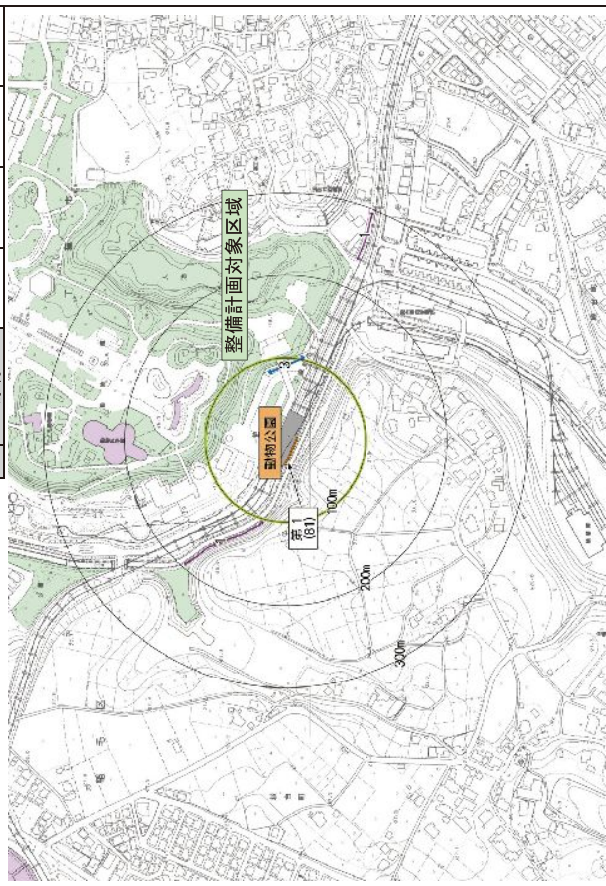
千葉都市モルレル2号線

動物公園駅
【現況】

動物公園駅は、1日平均乗車人員は約700人、自転車等の乗入台数は84台である。
駐輪場は1箇所設置しており、収容台数は89台となっている。

駐車台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数
全体		駐車	放置	台数
計	84	81	3	89
自転車	82	79	3	84
原付	2	2	0	5

測定日：平成18年10月30日
図はピーク時の台数を示している。



【需要推計】

参考データ	1日平均乗車人員(H17)	バス	タクシー	その他
駅利用状況	659人/日	7.5%	0.0%	2.8%
モルレル		2.4%		

(H18千葉市統計書)

交通分担率	徒歩	自転車等	バス	タクシー	その他
モルレル	87.3%	2.4%	7.5%	0.0%	2.8%

(H10 東京都市圏パーソントリップ調査)

【整備計画】

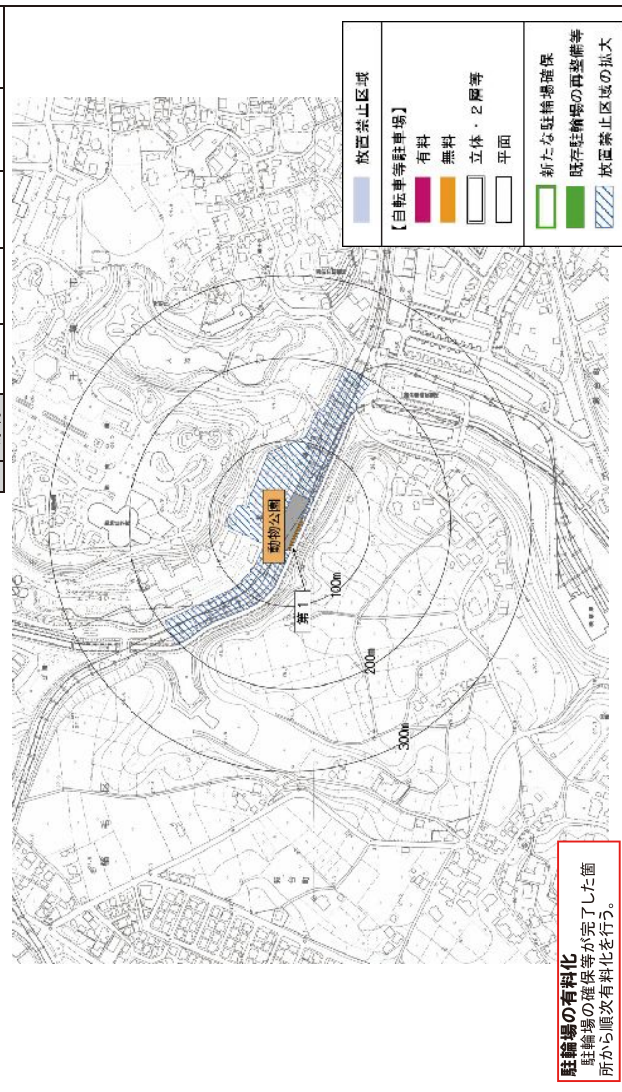
動物公園駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は77台と推計しており、現在の乗入台数を割り込む見込みである。なお、現在の乗入台数に対しても、収容台数が89台確保しているため、充足している。

計画期間(H27)の伸び率	全体	自転車	原付
		0.91	1.00

【整備計画】

収容台数の不足を見込んでいないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。
また、自転車等の放置の実態や有料化の時期を踏まえて放置禁止区域を指定する。

整備計画図		全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数		不足台数	
計	84	計	84	計	77	計	77	計	89	計	89	計	—
自転車	82	自転車	82	自転車	75	自転車	75	自転車	84	自転車	84	自転車	—
原付	2	原付	2	原付	2	原付	2	原付	5	原付	5	原付	—



駐輪場の有料化
駐輪場の確保等が完了した箇
所から順次有料化を行う。

【整備内容】

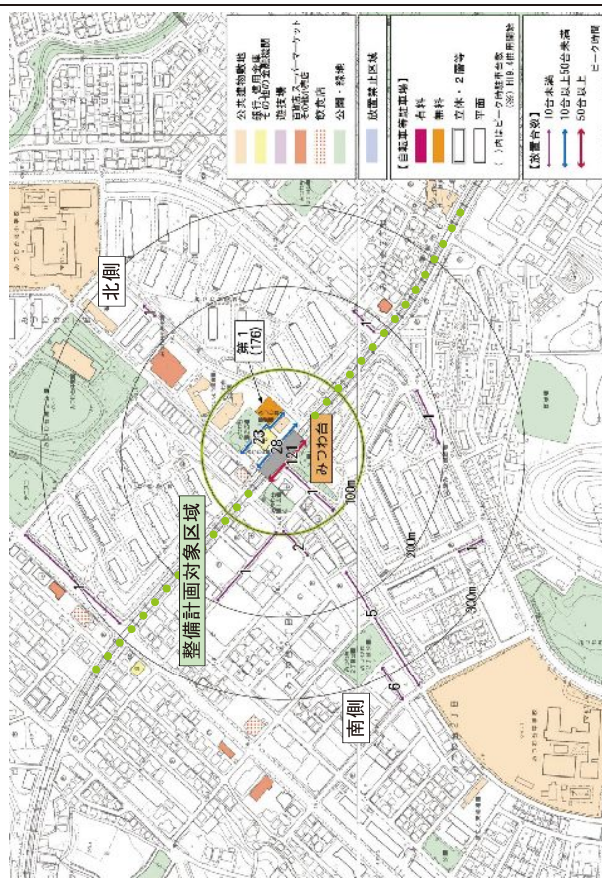
駅口	駐輪場	整備手法	台数		整備時期	主体		
			現況(原付)	整備(原付)			計(原付)	
第1	(既設)		89	(5)	89	(5)		
駅計			89	(5)	0	(0)	89	(5)

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モルレル 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26～27

**みつわ台駅
（環流）**

みつわ台駅は、1日平均乗車人員は約1,800人、自転車等の乗入台数は349台である。
駐輪場は北側に1箇所設置しており、収容台数は500台となっている。

駐車台数・放置台数	全体		収容台数
	駐車	放置	
測定日：平成18年10月30日	349	176	500
図はピーク時の台数を示している。	342	173	480
	7	0	20
	原付	7	



南側	乗入台数		北側	乗入台数		全体	収容台数
	駐車	放置		駐車	放置		
計	0	122	計	227	176	227	500
自転車	0	122	自転車	220	169	220	480
原付	0	0	原付	7	7	7	20

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	1,785人/日
モノレール	交通分担率	78.2%
	徒歩	19.3%
	自転車等	1.2%
	バス	0.0%
	タクシー	1.4%
	その他	0.0%

(H18千葉市統計書)

【需要推計】

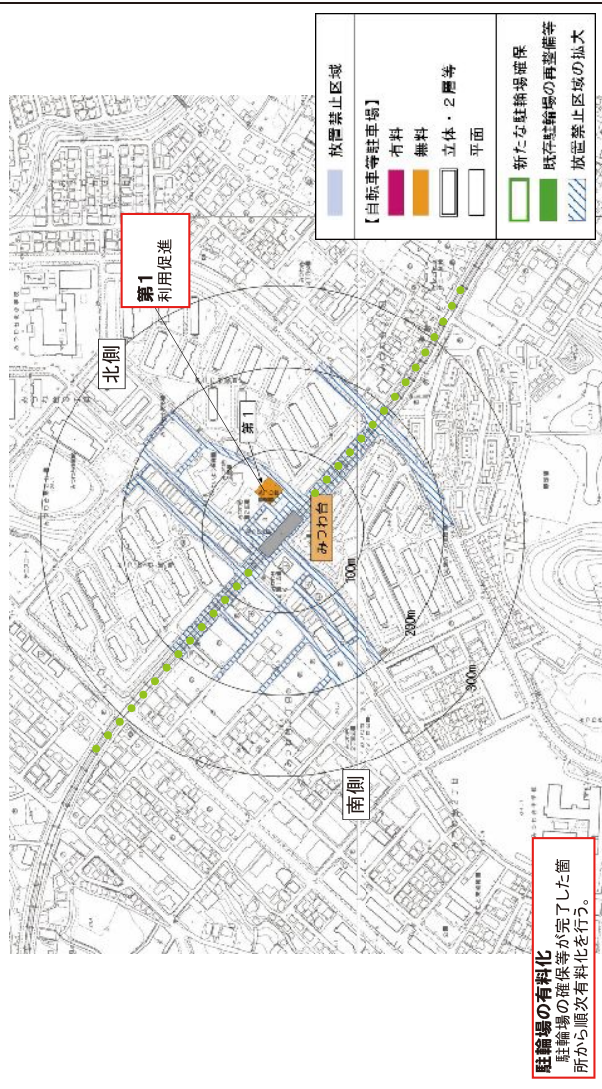
みつわ台駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は349台と現状維持を見込んでおり、現在、収容台数を500台確保していることから、既に充足している。

計画期間(H27)の伸び率	全体	自転車	原付
	1.00	1.00	1.00

【整備計画】

南側では、収容台数の不足分については、自転車等の利用者を北側の第1駐輪場に誘導して対応する。
北側では、収容台数の不足を見込んでいないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。
また、自転車等の放置の実態や有料化の時期を踏まえて放置禁止区域を指定する。

整備計画図	全体		乗入台数	伸び率	推計台数	収容台数
	計	自転車				
	349	342	349	—	349	500
	342	342	342	1.00	342	480
	7	7	7	1.00	7	20
	原付	7				



南側	乗入台数		北側	乗入台数		全体	収容台数
	駐車	放置		駐車	放置		
計	122	0	計	227	176	227	500
自転車	122	0	自転車	220	169	220	480
原付	0	0	原付	7	7	7	20

◆整備内容

駅駐輪場	整備手法	整備時期	主体
第1	(既設)	—	市
駅計			
	現況(原付)	整備(原付)	計(原付)
	500 (20)	500 (20)	500 (20)
	500 (20)	0 (0)	500 (20)

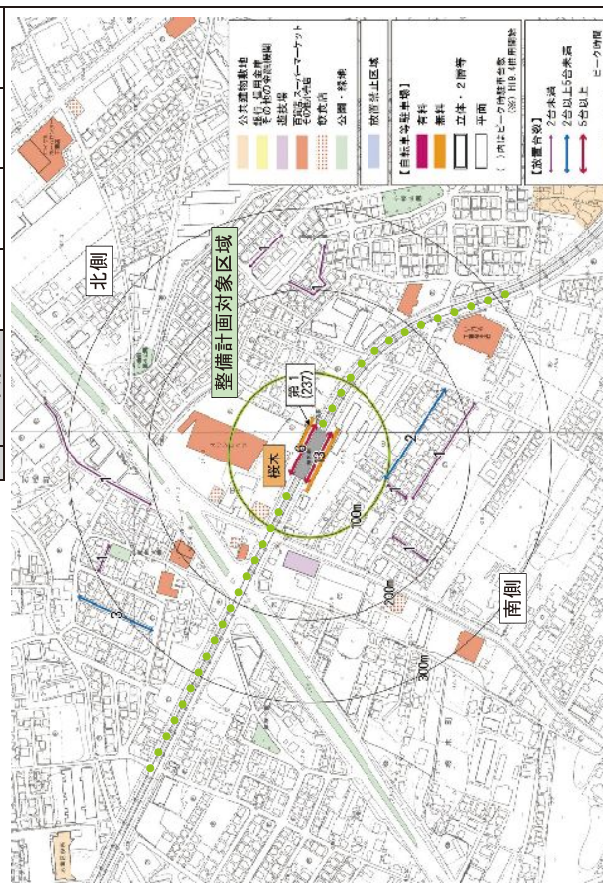
※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26-27

桜木駅
【現況】

桜木駅は、1日平均乗車人員は約1,400人、自転車等の乗入台数は257台である。
駐輪場は1箇所設置しており、収容台数は300台となっている。

駐輪台数・放置台数	全体		ピーク時乗入台数		収容台数	
	計	自転車	計	自転車	放置	総計
	257	238	257	238	19	300
自転車	253	234	自転車	19	296	
原付	4	4	原付	0	4	

測定日：平成18年10月30日
図はピーク時の台数を示している。



南側		北側		全体	
乗入台数	自転車	乗入台数	自転車	乗入台数	自転車
計	132	計	125	計	257
自転車	130	自転車	119	自転車	238
原付	2	原付	6	原付	19
計	130	計	123	計	253
自転車	130	自転車	117	自転車	234
原付	2	原付	6	原付	4

駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	1,414人/日	モレール	97.9%	徒歩	99.9%	自転車等	バス	0.0%	タワニー	0.0%	その他	0.0%
(H18千葉市統計書)													

【需要推計】

桜木駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は262台と推計しており、現在の収容台数は300台を確保していることから、既に充足している。

計画期間(H27)の伸び率	全体	自転車	原付
	1.02	1.00	1.00

【整備計画】

収容台数の不足を見込んでいないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。
また、自転車等の放置の実態や有料化の時期を踏まえて放置禁止区域を指定する。

整備計画図	全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数	
	計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車	計	自転車
	257	238	257	238	—	—	262	243	300	281
自転車	253	234	自転車	253	1.02	258	236	296	277	
原付	4	4	原付	4	1.00	4	4	4	4	



南側		北側		全体	
乗入台数	自転車	乗入台数	自転車	乗入台数	自転車
計	132	計	125	計	257
自転車	130	自転車	119	自転車	238
原付	2	原付	6	原付	19
計	130	計	123	計	253
自転車	130	自転車	117	自転車	234
原付	2	原付	6	原付	4

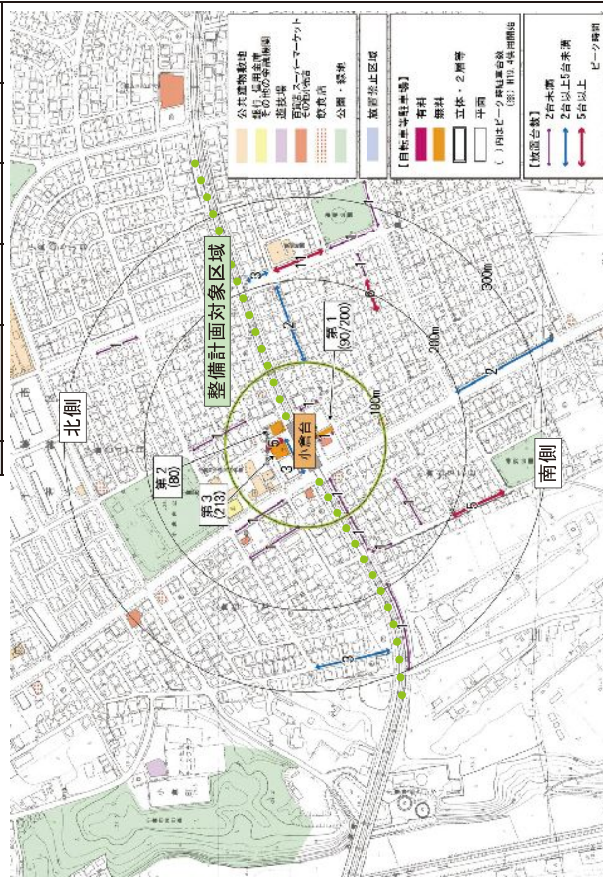
整備手法		整備(原付)		計(原付)		主体	
現況(原付)	整備(原付)	現況(原付)	整備(原付)	計(原付)	用地	整備	運営
150	2	150	2	150	市	市	市
150	2	150	2	150	市	市	市
計	2	計	2	計	2	計	2

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モレール 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26～27

小倉台駅
【現状】

小倉台駅は、1日平均乗車人員は約1,300人、自転車等の乗入台数は395台である。
駐輪場は南側に1箇所、北側に2箇所設置しており、収容台数は470台となっている。

駐車台数・放置台数	ピーク時乗入台数		収容台数
	駐車	放置	
計	395	383	470
自転車	382	372	458
原付	13	11	12



南側	乗入台数		北側	乗入台数	
	駐車	放置		駐車	放置
計	93	90	302	302	
自転車	91	88	291	284	
原付	2	2	11	9	

参考データ	駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	1,281人/日
モレール	交通分担率	徒歩	84.4%
	モレール	自転車等	12.4%
		バス	1.6%
		タクシー	0.0%
		その他	1.6%

(H18千葉市統計書)

【需要推計】

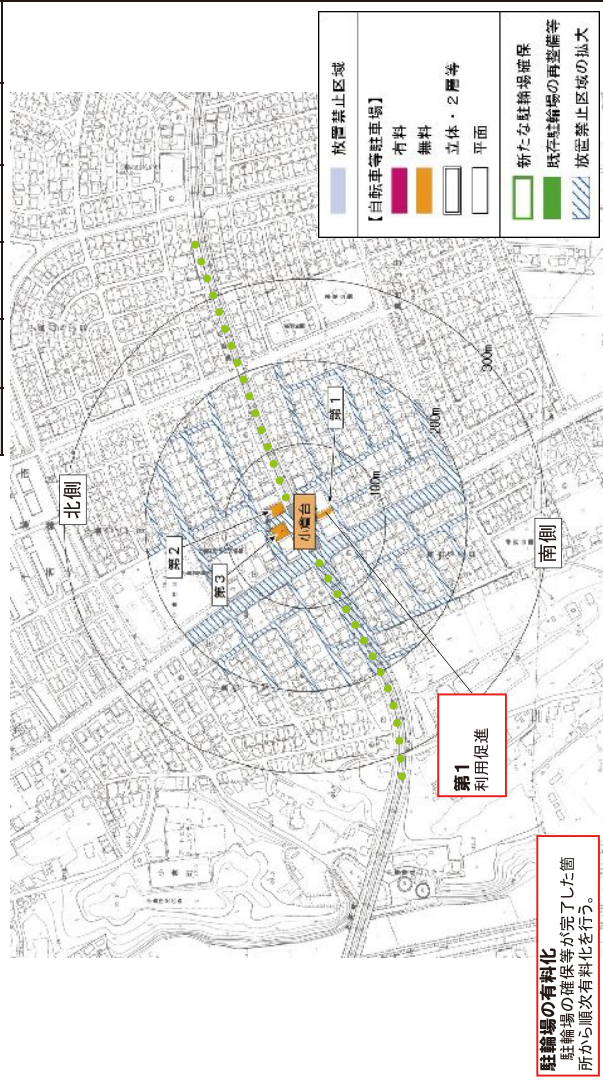
小倉台駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は403台と推計しており、現在、収容台数470台を確保していることから、既に充足している。

計画期間(H27)の伸び率	全体	自転車	原付
	1.02	1.00	1.00

【整備計画】

南側では、収容台数の不足を見込んでいないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。
北側では、収容台数が不足しているが、南側の駐輪場に自転車等の利用者を誘導して対応し、駐輪場の整備は行わないものとする。
また、自転車等の放置の実態や有料化の時期を踏まえて放置禁止区域を指定する。

整備計画図	乗入台数		伸び率	推計台数	収容台数
	計	原付			
全体	395	382	1.00	403	470
自転車	382	372	1.02	390	458
原付	13	11	1.00	13	12



南側	乗入台数		北側	乗入台数	
	計	原付		計	原付
計	93	91	302	302	
自転車	91	88	291	297	
原付	2	2	11	11	

整備手法	整備(原付)		計(原付)	整備時期	主体
	現況(原付)	整備(原付)			
南側	200(4)	0(0)	200(4)	—	市
北側	100(3)	0(0)	100(3)	—	市
計	170(5)	0(0)	170(5)	—	市
原付	270(8)	0(0)	270(8)	—	市
原付	470(12)	0(0)	470(12)	—	市

【整備計画】

南側では、収容台数の不足を見込んでいないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。
北側では、収容台数が不足しているが、南側の駐輪場に自転車等の利用者を誘導して対応し、駐輪場の整備は行わないものとする。
また、自転車等の放置の実態や有料化の時期を踏まえて放置禁止区域を指定する。

整備計画図	乗入台数		伸び率	推計台数	収容台数
計	原付				
全体	395	382	1.00	403	470
自転車	382	372	1.02	390	458
原付	13	11	1.00	13	12

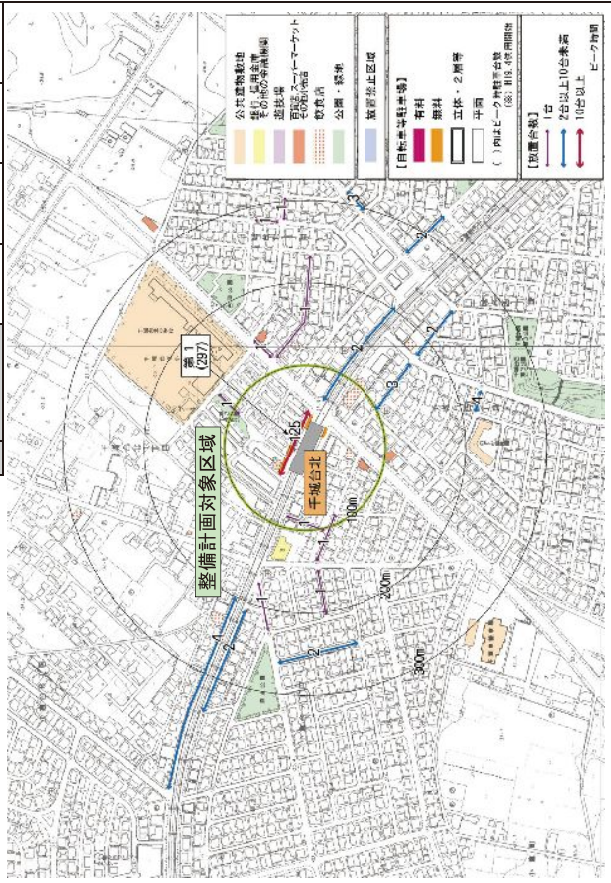
千葉都市モルレル2号線

千城台北駅

【現況】

千城台北駅は、1日平均乗車人員は約700人、自転車等の乗入台数は423台である。
 駐輪場は1箇所設置しており、収容台数は250台となっている。

駐車台数・放置台数	ピーク時乗入台数		収容台数
	計	自転車	
測定日：平成18年10月30日	423	297	250
図はピーク時の台数を示している。	418	294	245
	5	3	2
	原付		5



◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	718人/日	(H18千葉市統計書)
モルレル	モルレル	81.2%	モルレル
交通分担率	徒歩	15.6%	その他
	自転車等	0.0%	3.2%
	バス	0.0%	

(H10東京都市圏パペーションストリップ調査)

【需要推計】

千城台北駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数は394台と推計しており、現在の乗入台数を割り込む見込みとなっているが、現時点で収容台数が不足している。

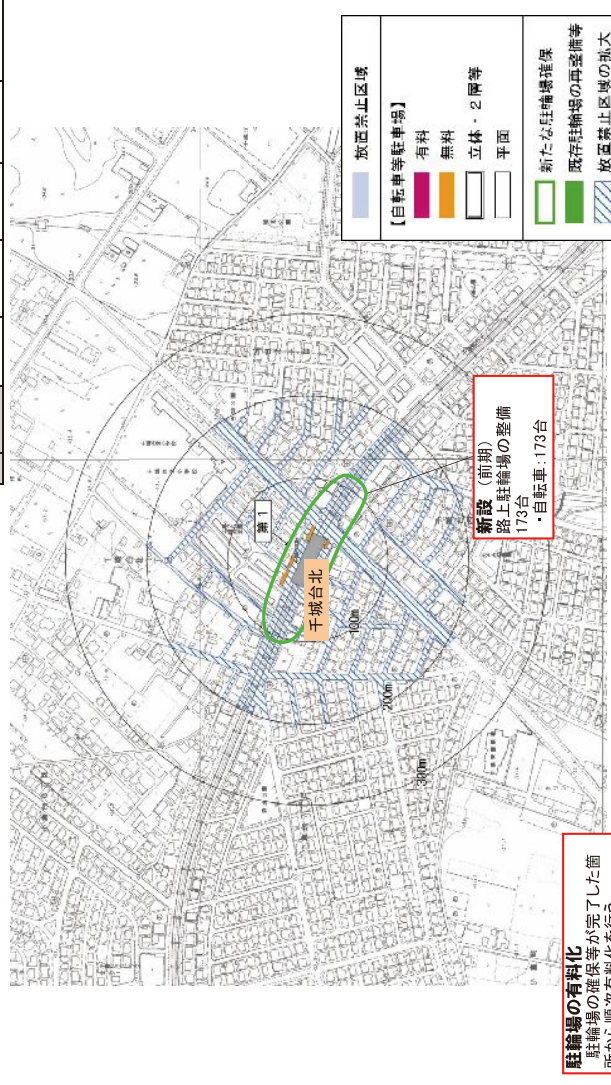
計画期間(H27)の	全体	自転車	原付
伸び率	0.93	1.00	

【整備計画】

収容台数が不足していることから、路上駐輪場を新設して対応する。なお、自転車の乗入台数について現時点の乗入台数が需要推計を上回ることから、現状に対応した台数を確保する。
 また、自転車等の放置の実態や有料化の時期を踏まえて放置禁止区域を指定する。

整備計画図

整備計画図	全体		乗入台数	伸び率	推計台数	収容台数	不足台数
	計	自転車					
	423	297	423	—	394	250	173
	418	294	418	0.93	389	245	173
	原付		5	1.00	5	5	—



◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数		整備時期	主体	
			現況(原付)	整備(原付)			計(原付)
第1	(再設) 路上駐輪場の整備		250	(5)	250	(6)	運送
新設	路上駐輪場の整備		173	(0)	173	(0)	市
原付			5	(0)	5	(0)	市
計			250	(5)	250	(6)	市

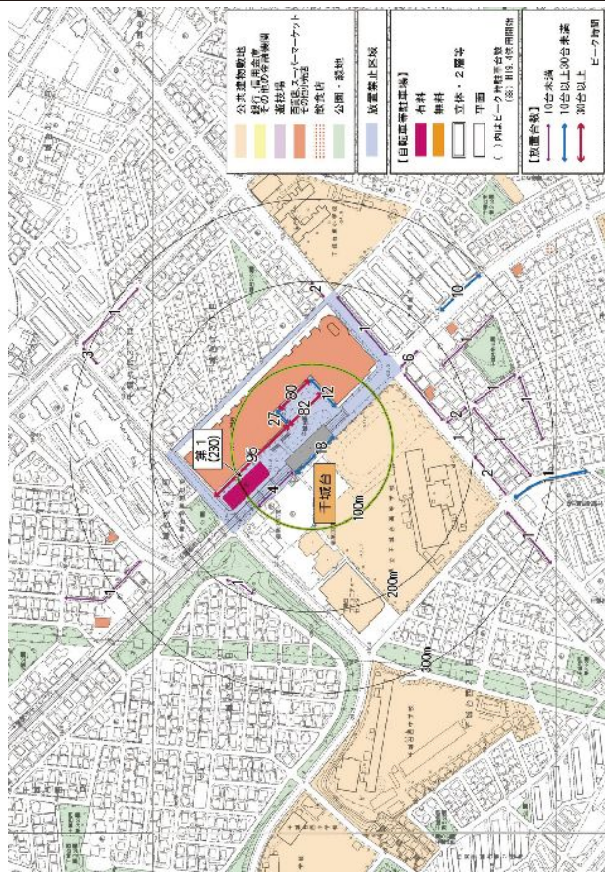
※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モルレル 民：個人または民間事業者
 ※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26・27

千葉県モノレール2号線

千城台駅
【現況】

千城台駅は、1日平均乗車人員は約4,500人と他の会社線と接続しない駅としては最も多くっており、自転車等の乗入台数は548台である。
駐輪場は1箇所設置しており、収容台数は1,400台となっている。

駐輪台数・放置台数		ピーク時乗入台数		収容台数	
測定日：平成18年10月30日	図はピーク時の台数を示している。	駐車	放置	駐車	放置
計		548	230	318	1,400
自転車		540	223	317	1,250
原付		8	7	1	150



◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H17)	その他
モノレール	4,482人/日	(H18千葉市統計書)

交通分担率	徒歩	自転車等	バス	タクシー	その他
モノレール	70.6%	17.7%	5.4%	0.0%	6.3%

(H10 東京都市圏バーン・ノンストップ調査)

【需要推計】

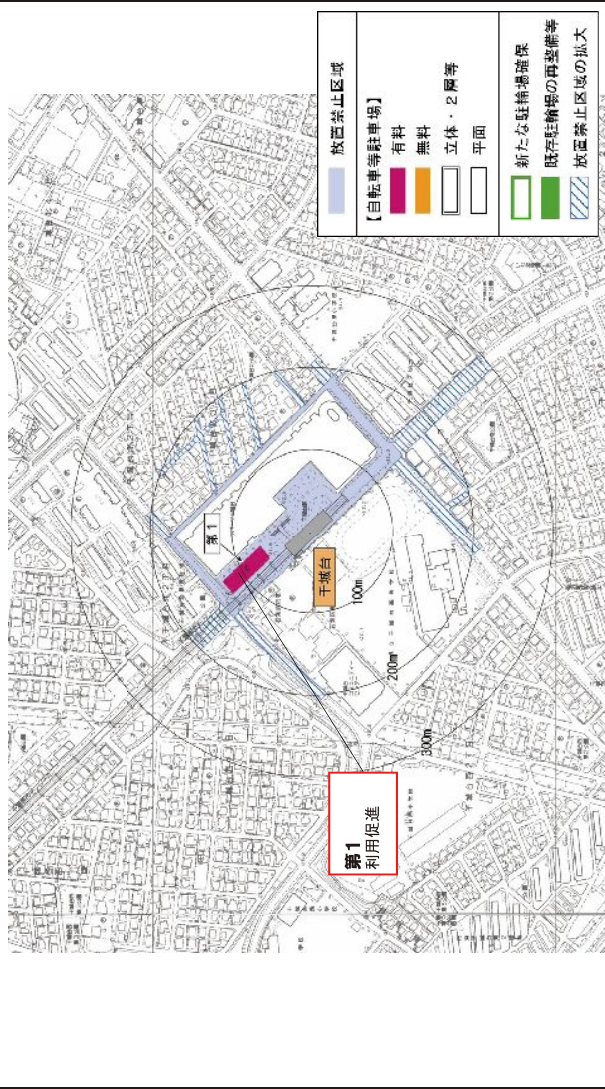
千城台駅周辺では、計画目標年次(平成27年)の乗入台数を504台と推計しており、現在の収容台数は1,400台を確保していることから、既に充足している。

計画期間(H27)の 伸び率	全体	自転車	原付
	0.92	0.83	

【整備計画】

収容台数の不足を見込んでいないことから、駐輪場の整備は行わないものとする。
また、自転車等の放置の実態を踏まえて放置禁止区域を拡大する。

整備計画図		全体		乗入台数		伸び率		推計台数		収容台数		不足台数	
		計	548	540	1,400	—	—	504	1,400	—	—	—	—
		自転車	540	540	1,250	0.92	0.83	497	1,250	—	—	—	—
		原付	8	8	150	—	—	7	150	—	—	—	—



◆整備内容

駅	駐輪場	整備手法	台数		主体					
			現況(原付)	整備(原付)		用地	整備	運営		
第1	(新設)		1,400	(150)	1,400	(150)	市	市	市	
駅計			1,400	(150)	0	(0)	1,400	(150)	1,400	(150)

※主体欄 市：千葉市、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：H20～22 中期：H23～25 後期：H26～27